

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 第二幸せの枝作成日: 平成 30 年 11 月 13 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の参加者が固定化し、会議の内容が報告を中心とした画一傾向にあるので、新しい参加者を募り会議の内容や議題を検討し、ホームの運営や業務改善に取り組んでいく。	地域で活動している有識者や知見者(薬剤師、公民館館長、他グループホーム管理者、交番警察官)等に参加をお願いし、ホームの反映と参加者にとっても知識や情報を得られる貴重な会議を目指す。また、家族が参加しやすい時間に運営推進会議を開催することも検討していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	勤務年数の長いベテラン職員を中心に安定した介護サービスの提供を行っているが、職員の高齢化とともに体力的に無理が生じているので、若手の職員の育成を目指し、安定した質の高い職員の確保を目指していく	職員の経験や習熟度によって、外部研修を交替で受講してもらい職員一人ひとりの介護技術の向上と意識の高揚を図り、意欲的に働ける職場環境を整えていく	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。